

（仮）第6次豊田市障がい者ライフサポートプラン策定に向けた 実態調査の進捗について

資料 2-1

1 実態調査概要

（1）調査の目的

障がい者の日常生活の状況やニーズなどの現状を把握・分析するとともに、当事者や関係者の意向、課題認識等を抽出することにより、今後の障がい者施策の検討・立案に向けた基礎資料とすることを目的に実施する（現状、実態調査は3年に一度実施している）。

（2）調査対象（アンケート送付先）

障がい者（抽出数 3,000 人）、市民（抽出数 1,000 人）、事業所（400 事業所）

（3）質問項目

令和6年度第2回豊田市社会福祉審議会障がい者専門分科会（書面開催）において質問項目案※を提示し、その後いただいた意見を踏まえ、項目を設計（詳細は別紙）。

※障がい者計画推進懇話会、地域自立支援協議会においても提示し、意見集約済。

（4）いただいた意見とその対応方針

主な意見	意見に対する対応方針	アンケート種別
福祉事業の人員不足や質、報酬などの問題に関する質問があるとよい。	「人材確保」、「報酬」に関する質問はあるが、「人材育成」に関する質問がなかったため、追加する。	事業所
障がい者が日常生活でどんな時に不安を抱き困っているかを聞いてほしい。	既存の「不安に思うこと」に関する質問に加え、「不安の解消に向けて望むこと」に関する質問を追加する。	障がい者
グループホーム等にすぐには入るつもりがない方に対して、何年後くらいに希望するかを聞けると、実態がわかるのではと思う。	グループホーム等へすぐには入所するつもりがないと回答した方に対して、何年後くらいに希望するかを聞く質問を追加する。	障がい者
障がいのある方が読みやすい（文字の大きさ、行間等）ものにしてほしい。	文字の大きさや行間等について、障がいのある方が読みやすいものとなるよう工夫していく。	全て
紙アンケートだと回答してもらえない可能性があるので、電子化を検討してほしい。	紙回答と電子回答を選択できるアンケート様式とする。	全て

（5）上記以外の対応

- ・事業所向けアンケートへ強度行動障がいのある方の受入れに関する質問を追加（現在の受入れ状況や今後の受入れに対する考えや抱えている課題等について）
- ・本実態調査に加え、必要に応じて事業所等へ個別ヒアリングの実施を想定

2 実施スケジュール（予定）

時期	内 容
～7月下旬	委託業者の選定、入札、契約
8月	専門分科会等での実態調査概要（質問項目等）の共有
9月	調査票の作成、発送（回答期間は1か月程度を想定）
10月～11月	調査票の回収、入力、集計
12月～2月	調査結果の分析、報告書（案）の作成、報告書の完成・公表